

途中出家（定年・老後）の人の心得十カ条他

- 一、) 分相応以上の財欲をもってはならないこと。
- 二、) 分相応以上の名誉欲をもってはならないこと。
- 三、) できるだけ与えられたものだけで生活すること。
- 四、) 常にこれまでの人生が出家に値するものであったかを顧みること。
- 五、) 人生後半からの出家で僧侶としての品格、風貌を備えることは甚だ難しくそのことを自覚していること。
- 六、) 65歳を過ぎたら後進の育成ができること。または後進への譲歩と支援ができること。
- 七、) 僧侶としての矜持（きょうじ）を保ちつつ、謙虚さの徹底をはかること。そして他の僧侶のお手本となれるようにすること。
- 八、) 世の中の人を見返すための出家ではないこと。
- 九、) 老後の安定した経済生活のための出家ではないこと。
- 十、) 仏・法・僧の三宝に常に帰依して感謝のこころを忘れないこと。

私の考える出家に向く人

- 一、他人のことにあまり関心のない人
- 二、ひとりでも修行や勉強が出来る人
- 三、簡素な生活を好む人
- 四、控えめな人
- 五、性格が素直で人の話を真面目に聞ける人
- 六、与える人
- 七、穏やかでおおらかな人
- 八、利他の人
- 九、冷静な人
- 十、純粹で一途な人

私の考える出家に向かない人

- 一、俗世のことに強い関心のある人（政治好きなど）
- 二、お金のことにやたら細かい人
- 三、ずる賢い人
- 四、癩癩（かんしゃく）持ちの人
- 五、自意識過剰の人
- 六、ケチな人
- 七、遊び好きな人
- 八、強引な人
- 九、信念のない人
- 十、陰険な人

※ これから途中出家をお考えの方は上記のことを自問自答してみてください。